

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公表番号】特表 2000-516601(P2000-516601A)

【公表日】平成 12 年 12 月 12 日 (2000.12.12)

【出願番号】特願平 10-509421

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 9/16

A 6 1 K 47/38

【F I】

A 6 1 K 9/16

A 6 1 K 47/38

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 16 日 (2004.8.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書



平成 16.8.16 年 月 日

特許庁長官 小 川 洋 殿

1. 事件の表示 平成 10 年特許願第 509421 号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 ヤマノウチ ユーロープ ベスローテン
フェンノートシャップ

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内 3 丁目 3 番 1 号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正対象書類名 明細書

6. 補正対象項目名 請求の範囲

7. 補正の内容 別紙記載の通り



請求の範囲

1. 室温での水可溶性が1： $\leq$ 10の比である水溶性活性成分を含有することを特徴とする粒状物。
2. 請求項1に記載の粒状物の調製方法であって、以下の工程、
 - (a) 活性成分の重量に対して1～40重量%の水溶液で粒状物を形成する成分を湿潤させて湿潤物を調製する工程、
 - (b) 該湿潤物を少なくとも2mmのふるいに通して粉碎する工程、
 - (c) 工程(b)で得られた粒状物を乾燥する工程、
 - (d) 乾燥した粒状物を少なくとも0.71mmのふるいに通してスクリーニングする工程、を含むことを特徴とする方法。
3. 活性成分の重量に対して、2.5～20重量%の水溶液が使用される、請求項2に記載の方法。
4. 請求項1に記載の粒状物若しくは請求項2又は3に記載の方法で調製された粒状物；微結晶性セルロース、ミクロファインセルロース又はこれらの混合物であるセルロース生成物；崩壊剤；及び前記セルロース生成物以外の他の賦形剤を含むことを特徴とする組成物。